

Continue

2022 SUMMER

vol.24

YUTACOLOGY'S communication press

ユタコロジー2022年テーマ

「選ばれる」

—前期を振り返って—

【快適空間創造】×【環境改善の見える化】×【SDGsでつながる】

小さな挑戦と変化を積み重ね、 選ばれるユタコロジに。

今期2022年、テーマ【選ばれる】のもと、6か月間
が経過しました。

コロナは未だ終息せず、ウィズコロナの状況が続
く一方で、更にデジタル化が進んだことにより、仕事
の進め方の変化や情報リテラシーの向上が求めら
れるようになりました。

当社は、清掃などによる建物の美化・清潔・衛生
業務や、修繕、特殊作業などによる環境改善・価値
向上の、人の手による【快適空間創造】サービスを礎
とし、さらにお客様により良いサービスや商品、情報、
価値の提供ができるよう【環境改善の見える化】
【SDGsでつながる】という時代の変化に対応すべ
く、邁進しているところであります。

そのためには、小さな挑戦や変化の積み重ねが
必要であると考えており、当社のこの6か月間の活
動の一端をお客様、ご関係者様にお伝えできまし
たら誠に幸甚でございます。

今年後半も引き続きご愛顧くださいますよう
宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 酒井秀京



2022年 前期を振り返って

2022年前期を終え後期を迎えるにあたり、ユタコロジ各部署長が
振り返りと次への目標を定めましたのでここに発表します。

課題の早期発見と解決

ファシリティーマネジメント事業部 部長 市川雄一

今期は、サービス提供方針〜できる方法を考える〜に則り、より良いサービスと、よりお役に立てるご提案を心
掛けております。積極的にお客様訪問をさせて頂き、ご要望やお困りごとをお伺いし、スピード対応で施工作業の
事前調査、安全対策に注力しました。
また、現場で働くクルーとの面談もさらに密にしておき、お客様の快適環境のため、安全教育、問題や課題の早
期発見とその解決に力を入れています。
新たに脱炭素・低炭素について、【当社でできること・ビルメンテナンス会社だからできること】のご提案も行いま
した。
後期は、クルーの人材確保にも努め、教育施設等新たな施設もお任せいただけるよう努力してまいります。



教育と改善で高品質を維持

CSV推進室 室長 栗原 武

今期は、お客様に安心・快適に過ごしていただくため、即対応でお客様のご要望にお応えする努力をしてまい
りました。そのために、施工実施における技術やノウハウの情報収集や習得を継続して行っています。また、お客様
とのコミュニケーションも積極的にとらせて頂き、お困りごとの早期解決に貢献できるよう努めております。
現場では、クルーに対し、高品質維持のため日々教育や改善を行い、特にコロナ禍においては、緊急除菌作業
やその管理を行うことで、お客様に安心して快適に働いていただける環境創りと、その切れ目ない環境の維持を実
行してまいりました。
施設の改善については、ダクトの除塵清掃などもご提案・実施させていただきました。引き続き快適環境創造に
貢献してまいります。



笑顔とマナー徹底の基本に立ち返る

業務部 部長 永田圭司

今期は、まず基本に立ち返ることから始めました。笑顔で挨拶すること。マナーの徹底、です。いただいた仕事を
きっちり実行することは当然やるべき最重要事項ですが、サービス提供会社として、作業時の姿や立ち居振る舞い
もお客様の快適空間創造に必要なことです。毎朝の朝礼や定期会議にて周知徹底を始めました。
また、安全対策とより良いサービスの提供を目的として、日々の業務部作業メンバーの現場での気づきの記録、
その共有と改善活動に力を注ぎました。
技術の向上については、資格の取得を進めることや当部署社員がビルメンテナンス協会の清掃作業従事者講
習の講師を務めるなど、新たな試みにも挑戦しました。後期はさらに今期計画実行の精度を高めてまいります。



SDGsの観点で環境、社会への貢献を促進

総務部 部長 久米明日樹

今期は、DX社会の到来に対応すべく、仕事の平準化、記録化を進めています。
また人材について、採用から教育まで、さらにお客様のお役に立てるよう制度づくりを進めており、同時に、安全
対策はもちろん、各種新たな法律対応に取り組んでいます。
また、SDGs、SBTなど、特に環境問題や女性活躍に寄与すべく進捗の管理をしています。社外報やホームペ
ージでの、会社情報の発信でお客様との接点づくりにも力を入れているところです。今後は、SDGsや防災・BCPの
観点から外部団体との連携で、会社価値を高めてお客様のお役に立てるよう努力してまいります。



ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

ユタコロジーは安全・安心・笑顔、そして感動の提供を事業目的とし、
 快適空間創造 × 環境改善の見える化 × SDGs でつながる事業を行っております。
 環境改善の見える化のため、当社の発生事例をご報告いたします。

発生月	番号	内 容	概 要
1月	1	お客様の備品の破損	定期清掃時、作業員が作業対象物(照明器具)の構造を認識できておらず、照明カバー脱着の際にプレートを落とし、プレートの角の一部が破損した。
	2	通勤災害	清掃作業敷地内に入ろうとしたところ、入口道路の2センチ程度の段差に躓き転倒。その際に膝を地面にぶつけてしまった(骨折)。
	3	お客様の備品の破壊	日常清掃時、共用通路に面したAC室外機のドレンホースにハンディークリーナーの先が接触してしまいホースが破損した。
	4	清掃クルーの体調不良	日常清掃時、ゴミ拾いをしていたクルーが感電したと同僚クルーから報告があった。本人も体調不良の症状があったため病院搬送し検査を行った。お客様・弊社での調査の結果、感電の事実はなくお騒がせしてしまった(ケガもなく持病の悪化であった)。
	5	お客様の備品破損	日常清掃時、弊社指定の掃除機を使用せず、お客様の掃除機を使用した際に故障させてしまった。
2月	6	自社車両事故(自損)	高速道路走行中に飛石が運転席側のサイドガラスに当たり、走行不可能なほどガラスが割れた。
	7	お客様の備品破損	定期清掃時、作業のため端に積んでいたイスを降ろした際に、背もたれ部品が割れ落下し破損した。
	8	お客様の備品破損	定期清掃時、作業対象箇所の窓ブラインドを上げる際、腰ベルトが棚の上に置いてあった置物に当たり転落、破損した。
3月	9	自社車両事故(自損)	営業担当がお客様先訪問時、駐車場の壁に営業車両左前バンパーを擦ってしまった。
	10	お客様の備品破損	日常清掃時、部屋のドアを強く閉めてしまい、ドアロックの部品が破損した。
	11	清掃時の人災	日常清掃時、「清掃中」の立て看板を立てた部屋に入室されたお客様とクリーンクルーの足がぶつかり、お客様が壁に頭を打ちつけてしまった。
	12	通勤災害	終業後帰宅途中、通勤で使用している自転車のハンドル操作を誤り転倒した(骨折)。
	13	お客様の備品破損	定期清掃時、備品移動の際に机の上に置いてあったアクリル板を単独で移動させ床に置いた。作業後の原状復帰をする際にそのアクリル板に気づかず足が接触し、破損した。
5月	14	お客様の備品破損	定期清掃時、移動させようとしたパイプ椅子とアクリル板が接触し、机間にアクリル板が落ち、その一部が割れてしまった。

※4月は事故、クレーム案件なし

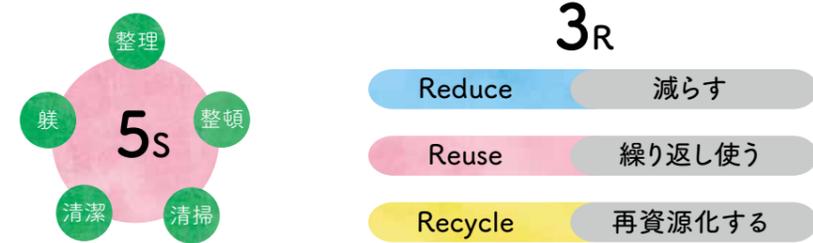
—表彰報告—

3月	危険予知報告	※詳しくは、P.6NEWS③をご覧ください。
----	--------	------------------------

お客様の快適空間の創造と事故ゼロを目指し、改善に努めてまいります。
 引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

活動報告

ユタコロジーでは毎月5S委員会を開催しています。
 もともとは社内での5S強化徹底のためにスタートした委員会でしたが、
 現在では「安全」や「ISO」に関する事柄も議題とし、改善活動を行っています。



5S: 整理、整頓、清掃、清潔、改善。職場環境を整え維持するための5つの要素。
 3R: Reduce: 減らす Reuse: 繰り返し使う Recycle: 再資源化する
 廃棄物削減のための取り組み。

【2022年の動き】

	安全	ISO・SBT	5S
1月	・アルコールチェック義務化対応		・営業車内の5S向上
2月		・ISO・SBT管理項目の進捗確認・見直し	
3月			
4月			
5月	・BCP策定 ・防災訓練		
6月		・3R進捗確認	
7月			
8月		・省エネアイデア実験	
9月			
10月	安全作業 マニュアル見直し		
11月		・省エネアイデア実験	
12月		・3R進捗確認	

省エネアイデア実験

社内の電気使用量調査

- ①ユタコロジー本社のブレーカーにセンサーを設置
- ②各ブレーカーの個別数値を1~2か月ずつ計測
- ③計測結果から改善箇所を見つけ、エコチューニングの観点から省エネ化の施策を立てる
- ④PDCAを回し電気使用量削減につなげる



NEWS ①

REPORT

脱炭素チャレンジカップ



東京で開催された「脱炭素チャレンジカップ2022」

「ユタコロジー最優秀チャレンジ賞」に輝いた
《バイオガス出前授業の会》（東京都）を訪ねました

2月に開催された脱炭素チャレンジカップ2022で、ユタコロジー最優秀チャレンジ賞を受賞した「バイオガス出前授業の会」。オンラインでの表彰式だったため、4月、会事務局の宮原さんのお宅を総務部久米が訪ね、改めて賞状とトロフィをお渡ししました。



ユタコロジー最優秀チャレンジ賞の賞状とトロフィを授与しました

—生ごみから
バイオガス燃料が生まれる!—

バイオガスは家庭の生ゴミからつくることができます。

- ①生ごみの重さを量り、装置へ入れる。
- ②生ごみと同量の水を入れる。
- ③発酵が進むと液肥とガスに分かれる。液肥は薄めて肥料として使える。

チャレンジカップでプレゼンターを務めた中学生・三奈木勇翔君は小学生の時、バイオガス出前授業の発起人である東北大学大学院農学研究科 多田千佳准教授の授業を受け、「ガスは大企業でしかつけれないと思っていたけれど、身近なごみから生み出すことができるんだ!」と強く興味を持ったそうです。

バイオガスを東京オリンピックのメイン燃料にしてもらいたいと、当初の総合統括・野村萬斎さんへ手紙を書き、結果メイン燃料は国策により水素となりましたが、東京パラリンピック宮城県集火式へのバイオガス使用が実現しました。

—バイオガスを一般家庭にも—

「自分が面白いと思ひ携わったバイオガスについて、SDGsに力を入れる学校にも伝えていきたい」と三奈木君。
「一般家庭にもこのような小型発生装置が普及し、バイオガスが市民権を得てほしいです」と、夢を話してくれました。
この日、宮原さんのご自宅の庭にene café METHANE®(エネカフェ・メタン)東京が“オープン”。
バイオガスで沸かした湯でコーヒーを淹れていただき、「来店客第一号」となりました。

美味しいコーヒーを飲みながら、
生ごみからガスが生まれバーナーから
炎が灯る様子に化学の神秘を感じました。



手づくりのバイオガス発生装置



(左から) 齊藤知代さん(多田千佳准教授の妹さん)、久米、三奈木勇翔君、宮原 元さん(バイオガス出前授業の会事務局)

REPORT
脱炭素チャレンジカップ



湯を沸かす準備を進める宮原さんと三奈木君



理科の実験で使用するようなガスバーナーです



バイオガスで見事に炎が灯り、湯が沸きました!

—まとめ—

「最優秀チャレンジ賞」は、脱炭素を達成するための「持続可能な仕組みづくりにチャレンジしているか」という点に注目し、選考しました。東北大学大学院多田千佳准教授の出前授業に参加した小学生が大きな興味を抱き、自身が主役となって大人たちと共に、さらに大きな目標に向けチャレンジしていることが大変素晴らしいと思います。

再生可能エネルギーであるバイオガスに関する理解を深める活動が、次の世代へ確実に、そして広く繋がっている点を高く評価しました。今後もより多くの人を巻き込みながら、脱炭素に挑戦する次世代の育成が連鎖していくことを期待しております。

(総務部部长 久米明日樹)

バイオガス
出前授業の会



脱炭素
チャレンジカップ
2022



youtube
チャレンジカップ
2022



NEWS ②

椋山女学園大学現代マネジメント学科と
カレンダー制作プロジェクトが始動

ユタコロジーの女性活躍支援の一環として、椋山女学園大学現代マネジメント学部 東 珠実教授の3年生ゼミとの産学連携により、卓上カレンダーを制作するプロジェクトがスタート。

4月、キックオフミーティングを行いました。

制作コンセプトは「一隅を照らす〜私たちの輝きStory〜」。一人ひとりの輝く女性の姿を通して、さまざまな女性の生き方に光を当てる構成とし、対象者のリストアップから取材、デザインなど学生主体で進めていきます。

女性が「自分らしさ」を發揮できる“場=スペース”の提供を新たなビジネス・コンセプトとするユタコロジー。カレンダーは完成後、顧客の皆様へお届けする予定です。

学生たちに制作コンセプトを伝え、「輝く女性」のモデルについて意見を交換しました。



学生たちに制作コンセプトを伝え、「輝く女性」のモデルについて意見を交換しました

NEWS ③

クリーンクルー水谷たか子さんがお客様より表彰されました



(左から) JERA川越 坂野所長、水谷さん、中電不動産 中井副長

3月25日JERA川越火力発電所に就業のクリーンクルー水谷たか子さんが、お客様より表彰を受けました。重大災害を未然に防止したKY(危険予知)と異常を、迅速に報告したことに対し評価をいただきました。

《表彰理由》

清掃作業中、いつもより部屋が暑いこと(異常)に気づき責任者へ報告。お客様が念のため点検をされたところ、そのまま放置していれば重大災害に繋がっていたと思われる設備故障が見つかった。正確なKYと迅速な報告を評価。

ご存じですか？

マンションの価値を守る2つの制度がスタートしました。

この4月、「管理計画認定制度」、「マンション管理適正評価制度」がスタート。

マンションの管理状態を客観的に判断できる基準として注目されています。

資産価値を守りながら、いつまでも安全に、快適に暮らすために。

マンション所有者様は制度の活用をご検討下さい。お問い合わせはユタコロジーへお気軽にどうぞ。

	管理計画認定制度	マンション管理適正評価制度
実施機関	国土交通省・地方自治体	マンション管理業協会
内容	<ul style="list-style-type: none"> 管理適正化推進計画を作成 管理組合の運営、経理、管理規約、長期修繕計画などを審査 	<ul style="list-style-type: none"> マンションの管理状況や管理組合の運営状況を評価 評価情報をウェブサイトに掲載
審査項目	<ul style="list-style-type: none"> 管理組合の運営・経理 管理規約 長期修繕計画 など16項目※1 	<ul style="list-style-type: none"> 管理組合の体制・収支 建築設備維持管理 耐震診断 など30項目
判定方法	「認定」か「非認定」	6段階評価
費用	システム利用料:10,000円 事前確認審査:10,000円 (2022年度は無料)※2	登録料:5,500円(2022年度は無料) 評価・申請手数料: 管理会社や評価会社によって異なる

※1 自治体独自の項目を加えることができる

※2 別途手数料がかかる場合あり

(2022.05.21付日本経済新聞記事をもとに作成)

ユタコロジー(株)代表 TEL052-851-0077

はじめまして!

新しくユタコロジーの一員になりました。
お客様の快適空間の創造に努めてまいります。
お気軽にお声がけください!

質問はコレ!

- ① 出身と住まい
- ② 誕生日
- ③ いまコレに夢中!
- ④ 私の強み
- ⑤ 好きな言葉
- ⑥ “チームユタコロジー”のメンバーになって

安岡 桜

- ① 名古屋市南区出身 天白区在住
- ② 6月9日
- ③ 演劇、映画鑑賞、お絵描き、カラオケ
- ④ コミュニケーション力です。クルーさんが楽しく働けるよう、いい雰囲気の職場づくりを心掛けます。
- ⑤ 「百里を行く者は九十を半ばとす」
- ⑥ ご縁に感謝し、一生懸命頑張ります。宜しくお願いいたします!

笑顔と元気が
セールスポイントです!



Sakura
Yasuoka



YUTACOLGY

ユタコロジー株式会社

〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町4-48

tel 052-851-0077

e-mail info@yutacology.co.jp

URL https://yutacology.co.jp

